

山正ニュース

2012年1月号 (通巻32号)

株式会社 山正		
本社・緑化部	岐阜市市橋4-5-15	Tel <058>271-4468
岐阜営業所	岐阜市市橋4-5-15	Tel <058>271-4466
可児営業所	可児市川合塚越345-1	Tel <0574>62-5228
富山営業所	富山県射水市大江207-1	Tel <0766>55-3882
飛騨営業所	高山国府町857-2	Tel <0577>72-4466

2012年のはじまりにあたり



新年明けましておめでとうございます。昨年3月に発生した東日本大震災での被災者、福島原発事故での直接的、間接的被害者の皆様にはこころよりお見舞いもうしあげるとともに、一日もはやい復旧、復興を祈念しております。今年こそ、天災もなく、皆様にとって幸多い年になることをお祈りします。

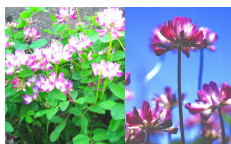
昨年は天災の多い年でした。地震から始まり、台風12、15号も広範囲で被害をもたらし、春と秋がなくなったような季節の急変、地球環境の変化をますます感じております。

TPP (環太平洋経済連携協定) 問題は、拙速な議論では日本国を危うくすると考えております。世界の中での日本の存在価値をしっかりと示すべきであり、他国に惑わされることではないと思っております。TPP参加、不参加にかかわらず、日本国を抜本的に見直す良い機会になるよう期待しております。

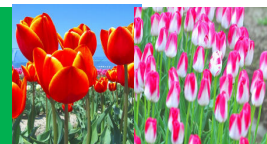
農政においては、「食と農林漁業の再生実現会議」で基本方針・行動計画がまとめられ、持続可能な力強い農業の実現のために、「人材の確保」と「農地の集約」が謳われ、「美味しい、安全、環境にやさしい」といった高付加価値での6次産業化を目指しています。現場が動きやすい、やる気のある人がやりやすい手法での具現化を期待したいものです。日本農業は、「量」の確保と「質」の維持の双方において実現が可能であり、その底力はあると思っております。その担い手である農家様、得意先の皆様のご支援をしっかりとしていきたいと思っております。ご指導のほどよろしくお願い致します。

今年の弊社のキーワードは「即答 (クイックレスポンス)」です。時代の流れ、時代の変化に対応すべく、一人ひとりの社員が、すべての物事に即座に対応し行動する機敏さを発揮して、皆様のお役に立ちたいと思っております。農業の入り口から出口まで網羅する機能を実現すべくいろいろと挑戦していくつもりです。本年もよろしくお願い致します。

平成24年1月
株式会社 山正
代表取締役 堅田 充宏



株式会社山正は、農薬・肥料・園芸ハウス・農業資材等の販売や、それに伴う農地・緑地・街路樹等のメンテナンス業務を通じ、地域農業や地域の環境緑地化への貢献を目指しています。



言葉の意味ズームアップ；TPP（環太平洋経済連携協定；1ページ社長巻頭言参照）

TPPは、貿易ルールの一つで、2006年5月にシンガポール、ブルネイ、チリ、ニュージーランドの4カ国で締結された自由貿易協定（通称「P4」）を広く環太平洋地域に拡大しようとするもの。Trans-Pacific Partnership の頭文字をとってTPPと表現され、日本語では「環太平洋連携協定」と表記されているものです。

現在、世界の貿易はWTO（World Trade Organization；世界貿易機関）、FTA（Free Trade Agreement；自由貿易協定）、EPA（Economic Partnership Agreement；経済連携協定）などのルールに基づいて進められており、TPPは関税の即時撤廃を求めていることや、関税撤廃の例外を認めないという点で、他のルールと異なり、究極の自由貿易を目指すものとされています。なお、FTA（TPPもこの一種）やEPAは関税及び貿易に関する一般協定第二十四条に位置づけられているものです。

P4で出発したTPPは現在アメリカを主導に、日本を含む環太平洋12カ国で交渉が進められる可能性が高くなっていますが、関税に関して、コメをはじめとするセンシティブ品目を多く有するわが国が、交渉のテーブルにおいて如何に有利な条件を引き出せるかが今後の鍵とされています。ちなみに、わが国の最も重要なセンシティブ品目であるコメの関税が完全に撤廃された場合には、国産米の3分の2ぐらいの価格で外国産が入ってくる可能性があるとの試算があります（2009年度米国産ミニマムアクセス米；MA米の平均価格170円/kg、中国産が167円/kgで、コメの関税が341円/kg、同年の国産米の平均価格 251円/kg 等々のデータをもとにしたものからの試算）。

（朝日新聞11月26日掲載、教えてTPP！？ ② 関税ゼロだとコメの価格は？を参考にした。）

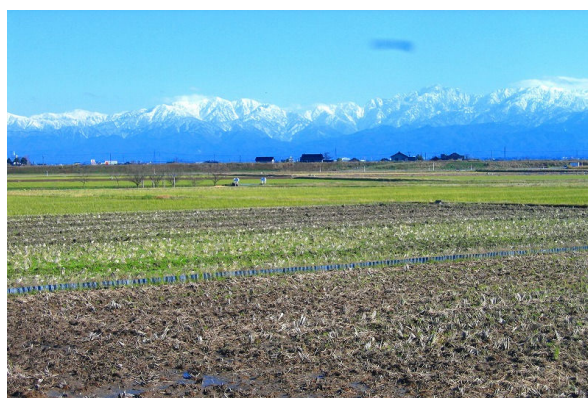
§ 1 2012年産米の目標数量決まる

～富山は微増の19万6千トン 岐阜は微減の12万トン～

農水省はこのほど2012年産米の生産目標数量を発表したが、そてによると、富山県が微増の19万6480トン、岐阜県が微減の12万320トンとなっている。増減の前年比は富山で0.3%増、岐阜で0.3%減となり、全国平均では0.3%の減となっているが、富山が微増したのは、これまで生産調整に協力してきたことに加え、良質米生産県に対する一定の配慮がなされた結果であると見られている。今後は、11年産米と同様に、目標とは別枠で作付できる備蓄米の配分によって、少しでも生産目標が多く確保されるように期待したいところである。

2012(平成23年)年産米の生産目標数量

	12年産米 の生産数量 目標(t)	面積 換算値 (ha)	11年産米との差	
			生産数量 目標の増 減率(%)	面積 換算値 (ha)
岐阜	120,320	24,660	▲0.3	▲60
富山	196,480	36,730	0.3	100
全国	793万トン	150万ha	▲0.3	▲4,689



2012年の作付を待つ沃野

2012年のはじまりにあたり（代表取締役 堅田充宏）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 ページ

囲み記事 言葉の意味ズームアップ；TPP（環太平洋経済連携協定）（名畑技術顧問）・・・・ 2 ページ

§ 1 2012年産米の目標数量決まる

～富山は微増の19万6千トン 岐阜は微減の12万トン～（名畑技術顧問）・・・・ 2 ページ